

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 国際推進室	所属長名	伊藤 一男	電話	483-1151 内線2337
-----	-------	-----	-------------	------	-------	----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4079	事務事業名称	平和事業				短縮コード	経常	臨時	4079		
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等		八千代市八千代平和事業市民実行委員会補助金交付要綱							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
平和事業は、八千代市が昭和62年9月に平和都市宣言を行ったことを機に始まった。市、文化・スポーツ振興財団、市民で組織された「八千代平和事業市民実行委員会」の三者共催による平和映画の上映や平和コンサート、演劇の公演等を行っている。また毎年8月6日に市主催の「黙とうと献花のつどい」を実施し、市民相互の平和意識の高揚を図っている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱(章)	06	計画推進のために					
平和映画や平和コンサート、平和演劇は平成7年から、八千代市文化振興財団と共催で実施、平成12年からは市と財団に市民で構成する平和事業市民実行委員会を加え、行政主導型から市民参加型に転換し、市民全体の平和事業を展開している。					大項目(節)	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
					中項目	02	地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進					
					小項目(施策)	02	平和と交流によるまちづくりの推進					
					細項目	01	市民が願う非核平和によるまちづくりの推進					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間	～		計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	市民						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 平和をテーマにした戦争資料展示会を勝田台ステーションギャラリーにて、講演会、語り芝居を八千代市市民会館にて実施。また、「黙とうと献花の集い」を市民会館の「平和祈念碑」前にて実施。 ※平成20年度に計画していること: 平和をテーマにした戦争資料展示会、コンサート、黙とうと献花の集い(原爆パネルの展示を同時開催)など。						
意図 (何を狙っているのか)	平和映画、平和コンサート、演劇及び黙とうと献花の集い(原爆パネルの展示を同時開催)などの平和事業を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さを多くの市民に理解してもらう。						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分	指標	市民	単位	18年度	19年度		20年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民	人	186,650	189,000	188,624	191,000
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	八千代平和事業の実施回数	回	2	3	3	2
	指標2	「黙とうと献花の集い」の開催準備日数	日	4	4	4	4
	指標3						
成果指標	指標1	八千代平和事業の参加人数	人	1,072	700	835	900
	指標2	黙とうと献花の集いの参加人数	人	198	150	178	150
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	4079	事務事業名称	平和事業			所属名	総合企画課 国際推進室	
	単位	18年度		19年度		20年度		
		実績	計画	実績	計画	計画	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0	0	0	
		県	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		一般財源	千円	355	355	219	355	
		その他	千円	0	0	0	0	
主な事業費の内訳		八千代平和事業市民実行委員会補助金300千円、「黙とうと献花の集い」合唱団謝金30千円・消耗品費25千円		八千代平和事業市民実行委員会補助金300千円、「黙とうと献花の集い」合唱団謝金30千円・消耗品費25千円		八千代平和事業市民実行委員会補助金164千円、「黙とうと献花の集い」合唱団謝金30千円・消耗品費25千円		
人件費 (B)		千円	6,515.1	5,218.8	6,640.9	5,653.7		
トータルコスト (A)+(B)		千円	6,870.1	5,573.8	6,859.9	6,008.7		

3. 事務事業の評価 (SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	平和映画の上映や平和コンサート・演劇の公演、黙とうと献花のつどいを毎年実施することにより、市民が平和と交流によるまちづくりの推進について考えるきっかけとなっている。			
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある				
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	平和事業が毎年行われているということ、参加者だけではなく、市民全体に浸透させていく必要がある。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	平和事業については、市と市民による八千代平和事業市民実行委員会にて推進しており、民営化になじまないものである。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	特に次代を担う子どもたちに参加を呼びかける必要があることから、対象について、15歳以上の市民と限定していたものを市民全体を対象とした。			
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある				
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある	平和事業の実施に当たり、平和映画やコンサートの参加者が増えるよう、特に戦争を知らない世代を対象にいかに関心を持ってもらうための魅力ある事業内容や、子どもたちが参加しやすい事業を行うよう配慮している。 また、実行委員として参加している市民と協働し、事業についての広報宣伝を工夫して、より多くの市民に参加してもらえるようにしている。			
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある				
		<input type="checkbox"/> 両方可能性はある				
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似事務事業名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 臨時的任用職員等の活用				
		<input type="checkbox"/> IT化等業務プロセスの見直し				
<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	2		実施主体 (所管部署)			
<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し						
<input type="checkbox"/> 上記以外の方法						
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある					
	<input checked="" type="checkbox"/> ない					

コード	4079	事務事業名称	平和事業			所属名	総合企画課 国際推進室																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			平和事業は、市民参画による「八千代平和事業市民実行委員会」と共催で実施している。実行委員会会議では事業の実施結果について評価・検討する場を設け、成果の向上につなげている。																					
			<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>						経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	平和事業の経費については、出演者の公演料や謝礼金が大部分を占める。これは事業にとって根幹となる経費のため削減は難しい。共催している「八千代平和事業市民実行委員会」の協力を得ることにより成果の向上が期待できる。
		経費																									
		削減	不変	増加																							
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	不変	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
市が平和事業を行っていることを知らない市民が多いので、もっと周知する方法を検討するべきであるとの意見が一部の議員から提起されている。	

所属長コメント	戦後60年以上が経過し、戦争体験者が少なくなっている現在、戦争の悲惨さや平和の尊さを、世代を担う子どもたちに伝えていくことが大切である。そのために、子どもたちや若者が参加しやすい企画やPRについて検討が必要である。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり現状のまま継続とする。